

BIM対応積算の ヘリオス新機能紹介

日積サービス
セミナー開催



BIM対応積算ソフト「HEΛΙΟΣ（ヘリオス）」を提供する日積サービスは、操作性や使い勝手を大幅に高めた最新版「HEΛΙΟΣ2026」のリリースに先立ち、東京都中央区のコングレススクエア日本橋でバージョンアップセミナーを開いた（写真）。HEΛΙΟΣ2026の新機能とBIM活用積算の実践事例役立つ三事例を紹介する。今後もユーザーのニーズに応えるサービスの開発に取り組んでいく」とあいさつした。

第1部では、構造・仕上げ積算機能の改良や明細比較機能の新規追加をはじめとする20項目超の強化ポイントを解説した。続く2部では、BIMモデルごとの数量積算の違いと注意点、建物の脱炭素化に向けた取り組み、建設DX（デジタルトランスフォーメーション）につながる新たな試みなどについての発表が行われた。

例の紹介といった2部構成で実施された。約180人が来場し、新機能やBIM積算の最新動向について学んだ。

開催に先立ち、同社の清水達広代表取締役は「2024年に当社は創立60周年を迎えた。第1部では処理速度の高速化による作業効率化や操作の簡便化などを実現した新機能について説明し、2部では建築物のライフサイクルアセスメント（LCA）算定などに役立つ三事例を紹介する。

HEΛΙΟΣ（ヘリオス）」を提供する日積サービスは、操作性や使い勝手を大幅に高めた最新版「HEΛΙΟΣ2026」のリリースに先立ち、東京都中央区のコングレススクエア日本橋でバージョンアップセミナーを開いた（写真）。

HEΛΙΟΣ2026の新機能とBIM活用積算の実践事例役立つ三事例を紹介する。今後もユーザーのニーズに応えるサービスの開発に取り組んでいく」とあいさつした。

第1部では、構造・仕上げ積算機能の改良や明細比較機能の新規追加をはじめとする20項目超の強化ポイントを解説した。続く2部では、BIMモデルごとの数量積算の違

Mモデルごとの数量積算の違いと注意点、建物の脱炭素化に向けた取り組み、建設DX（デジタルトランスフォーメーション）につながる新たな試みなどについての発表が行われた。

